



教育目標

- すすんで学ぶ子
- 思いやりのある子
- たくましく生きる子



目指す児童像

- ・確かな学力を身につけ心豊かに生きる児童
- ・互いに思いやり助けあう児童
- ・自分を伸ばすための努力をねばり強く積み重ねていける児童
- ・郷土に学び、檜原を誇りにもつ児童

目指す学校像

- ・自ら学び行動する力を育む学校
- ・地域・家庭とともに育む学校
- ・継続的・多角的に育む学校
- ・教職員、勤めたくなる学校

目指す教師像

- ・愛情と情熱をもって子どもたちと向き合う教師
- ・自信と誇りをもって教育に取り組む教師
- ・常に学び続ける教師
- ・組織力を大切にする教師

・児童をよりよく伸ばしていくために、教職員と保護者、地域の方々が理解と信頼を深め、温かな人間関係を育み、みなさんの英知を結集して教育活動を推進する。

○学校経営計画の重点

【檜原の子どもたちに豊かな心と確かな学力、健やかな体力を！】

⇒知・徳・体のバランスのとれた自立・自律した人間を育てる

①自分のよさ、人のよさ、互いのよさを認める心と態度を身につける

- ・豊かな心を持ち、柔軟で適応力のある子どもを育てる。(生きる力・人間力)
- ・人権意識を育み、豊かな人間関係と社会性を育てる。(異年齢交流・社会的自立)
- ・コミュニケーション能力の育成を図る。(思考力・判断力・表現力の育成、英語活動)
- ・互いに認め合い、互いのよさを学び合えるあたたかな学級づくりをする。
- ・特別支援の体制の充実を図る。

②確かな学力を身につける(学級づくり、楽しくわかる授業づくり)

- ・学習意欲の向上と基礎的な学力の定着(朝学習、少人数、読書、小中一貫)
- ・体験を学習場面で生かす力を身につける。(社会体験、生活体験、心の体験等)
- ・家庭学習の充実(生活規則、家庭学習できる環境、読書、自主学習、時間の確保)

③郷土に学ぶことを通して、郷土檜原に誇りと愛着をもたせる「檜原を心のふるさとに」

- ・檜原の自然や伝統文化等の教材化を進め、郷土檜原のよさに気づく指導を工夫する。
- ・学校や地域への誇りと愛着を育む指導を推進する。(小中一貫行事、地域学習、特色ある教育活動)

④自分の安全と健康は自分で守る意欲と態度を育てる

- ・安全を守る知識や技能生活習慣の育成を図る指導を充実する。
- ・健康を守り増進させるための、保健・食育・体力向上の指導を充実する。

⑤檜原学園・小中一貫教育・保小連携の充実を図る

- ・檜原中との連携を強化し、9年間を見据えた教育活動の充実を図る。
- ・保育園との交流を充実させ保・小の連携の充実を図る。

⑥保護者・地域との連携を強化し、教育活動の充実を図る

- ・児童館やPTA・社会教育・地域の活動に積極的に関わり、地域の教育力を生かした学校づくりをする。

